

指標生物を利用した農業における 生物多様性の評価方法

環境保全型農業への取り組み

現在はここまで→ →これから先の取り組みも必要

取り組み内容への評価

- ・エコファーマー
- ・三重の安心食材

取り組み成果への評価

- ・生物多様性によって評価
- ・指標生物を利用する

生産物の
価値向上に継続

生物多様性の指標生物

例)

- 水稲:アカネ属トンボ類、カエル類
クモ類、水生カメムシ類等
- キャベツ:クモ類、ゴミムシ類等 など



指標生物の調査

- 指標生物の生態にあわせた方法
- 簡易な方法
- 指標生物の個体数を調査



指標生物個体数の評価

- 指標生物ごとに評価
- 個体数を表にあてはめる
- 評価の基準値となるスコア(0, 1, 2)を読み取る
- 全指標生物のスコア値を合計する

例)キャベツの場合

指標生物	評価の基準値(スコア)		
	0	1	2
コモリグモ類個体数	0頭	3頭未満	3頭以上
ゴミムシ類個体数	0頭	2頭未満	2頭以上
株上のクモ類個体数	0頭	2頭未満	2頭以上

総合評価

- 総合評価は指標生物の種類別でおこなう
- スコア値の合計を総合評価の表にあてはめる
- 取組効果をS~Cまでの4段階で総合評価する。

指標生物の種類数	環境保全型農業の取組効果			
	高い ←←	生物多様性		→→ 低い
	S	A	B	C
1種類	2	1	0	-
2種類	4	2~3	1	0
3種類	5~6	3~4	1~2	0
...
11種類	17~22	11~16	5~10	0~4

客観的に環境保全型農法の取組結果を評価できます。
生物多様性を保全した農法により生産された農産物としてPRするための材料に利用できます。

三重県農業研究所

〒515-2316 三重県松阪市嬉野川北町530
TEL 0598-42-6357 FAX 0598-42-1644